

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援事業）

|                |            |   |             |
|----------------|------------|---|-------------|
| ○事業所名          | ぼるく中原      |   |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年12月1日 |   | 2025年12月28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)     | 9 | (回答者数) 9    |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年12月1日 |   | 2025年12月28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)     | 6 | (回答者数) 6    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月11日 |   |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                       |
|---|--|---|--------------------------------------|
| 1 | 小集団で職員配置を多くし、個別のニーズに対応している。                | 発達上の課題がある児童・保護者共に初めて親子分離で過ごすので、個別に対応しながら、安心感を持っていただいている。課題がどのように解決の方に向いていくかの不安も大きく、不安な様子や困り感などに対して連絡ノートや電話などで速やかに対応している。<br>児童の様子を写真でお渡ししている。 | 必要な保護者には児童の様子を見ていただく機会や面談を多めに提案していく。 |
| 2 | 雨天以外園外に出ている。                               | 幼児にとって歩くことや園外で体を動かすことは重要と捉え、意識的に機会を持つようになっている。  | 雨天時の室内運動遊びの充実を図る。                    |
| 3 |  |   |                                      |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                       |
|---|--|---|--|
| 1 | 家族等も参加できる研修会などに取り組めていない。                   | 殆どの方が通所している他の事業所の親子通園で行われているので、少人数の当事業所で行うことにニーズがあるかどうか不明である。 | 保護者のニーズを知るようにする。<br>他の事業所と合同で行えるものを検討していく。 |
| 2 | 保護者同士の交流の場が持たれていない。                        | 今年度は設定したが、年度当初で利用児童も少なかったため参加希望者が少なく実施できなかった。                 | 児童数が増えてきたころに設定する。                          |
| 3 |  |   |  |